「残骨灰の取扱いに関するアンケート」結果報告【要約版】

調査概要

調査期間：令和 8 年 7 月 1 日から 8 月 31 日まで
対象者：18 歳以上
回答数：833 件（市内 761 件・市外 72 件）

【認知度】

項　目	認知率
有価物が含まれることを知っている	47.3%（394 件）
活用している自治体があることを知っている	22.8%（190 件）

【有価物の財源活用への賛否】（有効回答数 828 件、無回答 5 件）

賛成計：87.4%（724 件）
- 賛成：62.4%（517 件）
- どちらかといえば賛成：25.0%（207 件）

反対計：6.4%（53 件）
わからない：6.2%（51 件）

【年代別の賛成率】（有効回答数 828 件）

年　代	賛成率
10 代	57.1%
20 代	82.4%
30 代	82.4%
40 代	82.7%
50 代	88.2%
60 代	89.9%
70 代	91.0%
80 代以上	93.8%

【主要な意見】

賛成理由（複数回答、n=724）
- 火葬場のために有効活用：77.6%
- 資源として有効活用：51.9%
- 新たな財源の確保：44.8%

反対理由（複数回答、n=53）
- 遺族感情を損なう：69.8%
- 遺骨から収入を得ることに抵抗：69.8%

自由意見（182 件）
- 供養・丁寧な取扱い（30 件）
- 火葬場整備へ還元（27 件）
- 遺族の同意（25 件）
- 管理・監視体制の整備（15 件）